科目ナンバリング			
授業科目名<英訳>	統合科学 ：地球環境と人類とのバランス Interdisciplinary Sciences :Cool balance of mankind and Nature	担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 教授 奥本 裕 農学研究科 教授 井鷺 裕司 農学研究科 教授 足立 芳宏

群	統合科学科目群	分野(分類)	統合科学	使用言語	日本語

旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）

開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

人類が生存のために利用している地球環境を身近な食べ物のレベルから俯瞰してみる。人類が水や土地を食糧生産の為に浪費すれば自然環境破壊に直結する。水や土地を増やさずに100億人に増加した人口を養うために砂漠や海上で農業生産を行うことは、地球上の面積をさらに食糧生産のために収奪する愚行かもしれない。地球環境と人類との適切な距離感とは、地球環境が許容できる食糧生産が担うべきコストを理解する上で極めて重要である。この点について個人的、社会的に様々な視点があることに理解する。

[到達目標]

食料生産・地球環境・社会体制が密接に連動していることを理解し、地球環境と人類との関係改善について具体的な解決方針を設計する。

[授業計画と内容]

1　導入　講義の目的ならびに進め方を説明し、地球環境と人類との関係構築の歴史を概説する。

2,3　野生の動植物の家畜化・栽培化　２回
農耕・牧畜の起源が人間社会に及ぼした影響を紹介する
4,5　地球環境と品種　２回
品種育成の過去・現在・未来と育成される品種と環境との関わりを論じる
6　生物多様性創出のメカニズム
7,8　環境変動と生物多様性の危機
9　生物多様性の保全
１０　食と貧困―砂糖にみる「南北問題」の起源
１１　世界戦争と食資源開発―大豆にみる20世紀食糧戦―
１２　食と差別―肉食と屠畜の社会史―
１３　「下肥」と都市近郊農業―屎尿の比較環境史―
１４　パネルディスカッション　担当３教員による討議への学生参加

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

食料・環境・社会の各視点からの「地球環境と人類との関係」に関して、担当教員が取りあげた課題についてレポートを提出を求める。

統合科学 ：地球環境と人類とのバランス(2)へ続く↓↓↓

統合科学 ：地球環境と人類とのバランス(2)

[教科書]

講義プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習：講義で紹介する参考文献を予め読んでくる。

[その他（オフィスアワー等）]

適宜、質問できるように３人の教員のオフィスアワーを設定する。